

少しずつ寒さが和らぎ、柔らかな春の日差しを感じるようになりました。寒い冬を過ごした花や生き物も、そろそろ顔を出す頃です。お外遊びや散歩など楽しめる日が多くなりますね。まだ少し朝晩だけでなく日中も気温差がありますので、肌着や上着の調整をし体調を崩さないように元気に過ごしましょう。



耳は「音を聞く」「身体のバランスをとる」2つの働きをしています。生活の中で、耳は大切な役割を果たしていますが、他の器官に比べて病気になっても気づきにくい部分でもあります。特に乳幼児は症状を上手く伝えることができないので、おかしいと思ったら、早めに耳鼻咽喉科やかかりつけ医師に相談しましょう。

### 病後児利用の持ち物

- 🌸 利用申し込み兼同意書（病院で診察時に記入してもらってください）
- 🌸 着替え 🌸 紙おむつ（多めに） 🌸 お気に入りのもの（おしゃぶり、タオルなど）
- 🌸 病院で処方されたお薬（市販のものはお預かりできません）
- 🌸 保険証か母子手帳 🌸 利用料金（お迎え時にお支払いください）

お問い合わせの多い、当院病後児保育室ご利用時の 持ち物 についてご案内しました（他施設をご利用の際は施設により持ちものが違いますので各施設にお問い合わせください）。

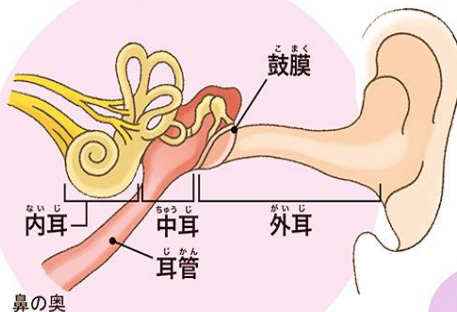


## 「3月3日」耳の日に寄せて

3月3日は「みみの日」です。

耳は、音を聞いたり、体のバランスを感じ取ったりする大切な器官です。子どもの耳ならではの特徴を知って、耳を守りましょう。

### 耳の構造



### 耳の仕組みは……

耳の仕組みは、大人も子どもも同じで、外耳、中耳、内耳の3つの部分があります。耳の穴から鼓膜までが外耳、鼓膜の奥には、中耳、内耳があります。内耳では音や体のバランスなどをキャッチしています。ただ、子どもは、大人よりも体が小さいため、子どもならではの特徴があります。

### 子どもの耳は……

### 耳掃除が大変

耳の穴が小さく、中が見づらいため、耳掃除が難しいです。また、耳の中の皮膚は敏感なため、子どもがいやがって動いて耳の中を傷つけることや、きょうだい児が抱きついてきて耳かきが押されて鼓膜が破れる事故も。

### 子どもの耳は……

### 中耳炎になりやすい

中耳は「耳管」という管で、鼻の奥とつながっています。子どもは大人に比べて耳管が短く、傾きがなだらかなため、鼻の中のウイルスや細菌が耳管を通して中耳に入りやすく、中耳炎を起こしやすいのです。

### だから……

### 鼻水を放っておかない

鼻水が出ているのをずっと放っておくと、鼻水の中にウイルスや細菌が繁殖し、中耳炎の原因となります。鼻水が多いとき、何日も続くときは鼻吸引器（鼻汁吸引器）などで吸ってあげましょう。



### だから……

### 困ったら耳鼻咽喉科で相談しましょう

普段の耳のケアは、お風呂上がりなどに耳の穴の入り口を綿棒でぬぐうだけでもOKです。綿棒を奥に入れてしまうと、耳あかを奥に押し込んでしまうことになります。耳あかがたまっているのに、耳掃除が難しいときは耳鼻咽喉科で相談しましょう。耳掃除のために受診するのは、めずらしいことではありません。

